

整理番号 00280

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Tungsten Carbide Calibration Sample

タングステンカーバイドキャリブレーションサンプル

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社

住所 〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当 SDS 担当者

電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社 LECO Corporation

住所 3000 Lakeview Avenue

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

区分に該当しない

ラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語： なし

危険有害性情報： なし

注意書き： 【安全対策】 産業衛生に気を配る

【応急処置】 取り扱った後、手を洗うこと

【保管】 避けるべき物質の近くに保管しないこと

【廃棄】 内容物及び残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名

炭化タングステン

成分および含有量(wt%)

90～100

化学式又は構造式	WC
官報公示整理番号	
化審法	1-1175
安衛法	対象外
PRTR法	対象外
CAS No	12070-12-1

4. 応急措置

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所へ移し、症状が悪化、継続する場合は医師を呼ぶ。
皮膚に付いた場合	： 石鹼と水で洗う。症状が悪化、継続する場合は医師に相談する。
目に入った場合	： 多量の水でよく洗う。炎症が悪化、継続する場合は医師に相談する。
飲み込んだ場合	： 通常考えにくいですが、もし飲み込んだ場合は医師に相談する。
急性症状及び遅発性 症状の最も重要な兆 候症状	： 入手不可

5. 火災時の措置

消火剤	乾燥粉末、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性 消火を行う者の保護	火災時、健康に有害なガスが発生するおそれがある 自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	近くの発火源を取り除く(喫煙、フレア、スパーク、炎等)。関係 の無い人を避難させる。十分に換気する。
封じ込め及び浄化の方法及 び機材	掃き集め又は掃除機での吸引によって適切な容器に集めて廃棄す る。
環境に対する注意事項	環境への流出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	裸火、熱源、発火源から遠ざける。ダストの発生、蓄積を最小限 にする。十分に換気する。産業環境に気を配る。長期間の暴露を 避ける。
安全な保管条件	密閉した容器内で、乾燥した換気の良い冷所に保管する。混触危

険物との接触を避けて保管する。(SDS10項参照)

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. ACGIH Threshold Limit Values

成分	タイプ	値
炭化タングステン (CAS 12070-12-1)	STEL	10 mg/m ³
	TWA	5 mg/m ³

US.NIOSH : Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値
炭化タングステン (CAS 12070-12-1)	STEL	10 mg/m ³
	TWA	5 mg/m ³

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

十分な換気の確保及び局所排気設備

保護具

眼/顔の保護 サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

皮膚の保護

手 適切な耐薬品手袋を着用する。

その他 適切な保護衣を着用する。

呼吸器の保護 十分換気できない場合、適切な呼吸器を着用する。

熱的危険 必要な場合熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項 製品使用後の手洗い、飲食や喫煙の前に使用しない等、衛生状態に気を配る。保護衣を定期的に洗浄する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状 粉末

色 灰色～黒色

臭い なし

融点・凝固点 2780 °C (推定)

沸点又は初留点及び沸騰範囲 6000 °C (推定)

可燃性 入手不可

爆発下限及び爆発上限界/可燃限界 入手不可

引火点 入手不可

自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	入手不可
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	15.60 g/cm ³ (推定)
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 危険性情報 (安定性・反応性)

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	危険な重合反応は起こらない
避けるべき条件	熱、スパーク、裸火、その他発火源を避ける。混触危険物との接触を避ける。
混触危険物質	鉛酸化物、窒素酸化物、酸、ハロゲン、強酸化剤
有害な分解生成物	タングステン酸化物、炭素酸化物

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	呼吸器系への刺激のおそれ。長期間の吸引は有害のおそれ
皮膚	皮膚刺激のおそれ
眼	眼刺激のおそれ
経口	消化管への刺激のおそれ
物理的、化学的、有害性特性に 関連した症状	入手不可
毒物学的影響	
急性毒性	入手不可
皮膚の腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可

発がん性	この製品は IARC,ACGIH,NTP,OSHA に発がん性物質として登録されていない。
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性（単回暴露）	入手不可
特定標的臓器毒性（反復暴露）	入手不可
誤えん有害性	入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性	利用できる生態毒性情報はない
残留性/分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響(例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性)は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。河川や土壌への流出を防ぐ。
汚染容器	利用できない

14. 輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15. 適用法令

なし

16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(091417) : LECO Corporation
	JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
	JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示および安全データシート
	化学便覧 : 丸善

